

有限会社ムトウ自動車

事業計画名

環境にやさしい地域初の水性塗料対応ブース導入による未来型整備工場化事業



環境にやさしい水性塗料対応塗装乾燥ブース（右:武藤喜光社長、左:武藤憲司専務）

作業者の人体への影響が少ない
水性塗料を使用

環境に配慮した水性塗料対応で

人・地域・環境にやさしい企業へ

大きな変革期を迎えている自動車整備業界。

ハイテク技術への対応や新たな分野への挑戦など、

生き残りへのキーワードがささやかれている。

地球的環境問題になっているVOC（揮発性有機化合物）の削減を目指し、

ムトウ自動車が導入したのは、

水性塗料対応塗装乾燥ブースだった。



自動車に関する事をトータルサポート

開発動機

環境汚染が問題になっている中、VOC排出規制が厳しくなっているのは世界の趨勢であり、日本が大きく遅れをとっている分野でもある。VOC、特に塗料のうすめ液として一般的に使用されているシンナーには、労働安全衛生法の規制対象でもある特定化学物質エチルベンゼンが含まれ、蒸発すれば大気に放出され環境への負荷も無視できない状況だ。当然ながら自動車業界でも有機溶剤を使用している油性塗料からVOCを大幅に削減でき、環境と人体への悪影響が少ない水性塗料への移行が求められている。

実施内容

本事業で導入する水性塗料対応塗装乾燥ブースは、性能・コスト・納期などを検討し、「アイリス クリーンパフォーマンス」(株式会社バンザイ製)に確定。水性塗装の塗装表面を乾燥させるための温風機能が高く、温度・湿度を最適に保つことができ、風量制御装置により塗装面に合わせた温風が出るため塗装の被膜が乾きやすくなり、水性塗装の品質向上と乾燥時間の短縮を図ることができる。また、この乾燥ブースの場合、熱循環方式・断熱パネルを採用していることに大きな特徴があり、一般的な熱の放出方式(ワンパス方式)と比べてコストの削減ができるという優位性もあった。

事業成果

本事業により近隣町村で水性塗料対応型ブースを有する唯一の企業となり、塗装工程の高精度・高機能化が図られ、欧州輸入ディーラーの外注請負設備条件をクリア。道東エリアの輸入車板金塗装の請負が可能となった。また、保険会社・共済組合からの「入庫紹介」増も期待でき、自動車整備・板金塗装の売上増と受注安定化につながりつつある。また有機溶剤・特定化学物質の対策を徹底することで、安心できる職場を実現。「人に、地球に、環境にやさしい企業」として、フロント、工場とも一体となり、お客さま目線でのサービスを徹底できるようになった。



床全面をグレーチング(アミ状)にし、乾燥時間を短縮

Vision



水性塗料使用で業界・地域を牽引 トータルサポートで地域貢献を

専務取締役 武藤 憲司 氏

通常、事故などの車両修理の最終工程などで外装塗装をしますが、塗料の中に環境負荷成分が入っているため自動車業界でも大きな課題になっています。ヨーロッパでは20年以上前から、環境に配慮した水性塗料の使用を義務づけていますが、日本ではようやくトヨタ自動車やマツダなどが新車の塗装に水性塗料を使用するようになりました。しかし、事故車などの車両修理に使用する塗料はディーラーも含め、環境負荷成分が含まれている油性塗料の使用が一般的です。この足寄町の小さな工場が業界・地域に先行して水性塗料を使用し、環境問題や作業環境の改善に取り組む意味は大きいと思います。自動車は自動ブレーキ、自動運転と進化を続けていきます。そのような中、ここ足寄町で自動車に関する事をトータルでサポートできる会社であり続けたいと思っています。

Company Data

有限会社ムトウ自動車

TEL.0156-25-2578 FAX.0156-25-3719

住 所 ● 足寄郡足寄町南3条4丁目2

代表者名 ● 代表取締役 武藤 喜光

資 本 金 ● 1000万円

従業員数 ● 19人

設 立 ● 昭和52年9月

事業内容 ● 自動車の販売、整備、車検、板金塗装、
レッカー、保険、買取、レンタカー